



保健だより げんきっこ

☆今月のテーマは「病院や薬について」です。

まだ暑さの残る中、雨が降ると夜には肌寒くなったり、室内の温度調節や衣服の調整も難しくなってくる季節ですね。体を少しずつ慣れさせるためにも薄めの長袖上着で調節したり、よく食べよく遊び、よく眠って健康な体づくりをしていきたいですね(*^~*)

協力願い

園での薬の投与を依頼するときは、誤飲などを防ぐためにも必ず**与薬依頼表**に必要事項の記載をしていただく事をお願いしています。

☆名前 ☆病院名 ☆朝の何時に飲ませたのか ☆食前なのか食後なのか

書き方が分からない、場所が分からないなど質問があれば、近くの職員に聞いてくださいね(*^~*)

※飲み薬（シロップ・粉）など、誤飲防止のためにも、1回分を入れてくださいね。

※薬剤提供書も大切な用紙になりますので、現物または写しを持たせてください。

（園でコピーをとらせていただきます）

また、お薬はカバンに入れっぱなしにせず、朝の登園時間にお薬箱へ入れてもらいますよう、お願ひいたします。



風邪について



お子様と病院に行くとき「風邪」が多いのではないでしょうか。いちばん身近な感染症「風邪」。薬局でも風邪の薬はあるけれど、風邪を完全に治す薬はないと言われているようです。

風邪の正式名称は「かぜ症候群」。のどや鼻、気管支の炎症、咳やたん、鼻水、発熱など色々な症状の病気をまとめた呼び名です。

季節の変わり目や体力免疫力が落ちている時にかかりやすく、回復までに数日かかる事もあります。また咳だけ長引くときもあります。

原因の多くはウイルスですが、ウイルスにも色々な種類があります。症状がひどくない限りお医者さんはどのウイルスによるか調べることはないそうですが、こじらせるると、肺炎や気管支炎にも繋がるのでも、気になる症状や長引いている場合には、早めにお医者さんに見てもらいましょう！

子どもにもできる病気の予防



- ・遊んだ後、トイレの後、食事の前、しっかり手洗い・うがいをしましょう。
- ・空気が乾燥すると、鼻やのどなどの粘膜が乾燥してしまい、病気にかかりやすくなったり、空気が乾燥するとウイルスも飛び散りやすくなるそうです。適度な加湿・環境を整えることも大切なことです。

